

平成25年度全国高等学校総合体育大会
第63回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会
実施要項

主催	公益財団法人全国高等学校体育連盟 公益財団法人日本スケート連盟 公益財団法人日本アイスホッケー連盟 青森県 青森県教育委員会 八戸市 八戸市教育委員会 三沢市 三沢市教育委員会 南部町 南部町教育委員会
共催	読売新聞社
後援	文部科学省 公益財団法人日本体育協会 日本放送協会 公益財団法人青森県体育協会 八戸市体育協会 一般財団法人三沢市体育協会 南部町体育協会
主管	公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部 青森県高等学校体育連盟 青森県スケート連盟 青森県アイスホッケー連盟
特別協賛	コカ・コーラ

1 会 期

区 分	競 技 名	期 日
開 会 式	スピード競技 フィギュア競技 アイスホッケー競技	平成26年1月20日(月)
競 技	スピード競技 フィギュア競技 アイスホッケー競技	平成26年1月21日(火)～1月24日(金)

2 会 場

区 分	競 技 名	期 日
開 会 式	スピード競技 フィギュア競技 アイスホッケー競技	八戸市公会堂(八戸市)
競 技	スピード競技	八戸市長根公園パイピングスケートリンク(八戸市)
	フィギュア競技	三沢アイスアリーナ(三沢市)
	アイスホッケー競技	テクノルアイスパーク新井田(八戸市) 田名部記念アリーナ(八戸市) ふくちアイスアリーナ(南部町)

3 競技種別

(1) スピード競技

	距 離				
男 子	500m	1000m	1500m	5000m	10000m リレー2000m
女 子	500m	1000m	1500m	3000m	リレー2000m

(2) フィギュア競技

男 子	シングルスケーティング
女 子	シングルスケーティング

(3) アイスホッケー競技(男子)

4 競技日程

	スピード競技	フィギュア競技	アイスホッケー競技
2 1 (火)	① 女子500m 1回目 ② 男子500m 1回目 ③ 女子500m 2回目 ④ 男子500m 2回目 ⑤ 男子5000m	女子予選 Aグループ ショートプログラム	第1回戦
2 2 (水)	① 女子1000m ② 男子1000m ③ 女子3000m	女子予選 Bグループ ショートプログラム 男子予選 ショートプログラム	第2回戦
2 3 (木)	① 男子10000m	女子予選 Cグループ ショートプログラム 男子決勝 フリースケーティング	第3回戦 準決勝
2 4 (金)	① 男子1500m ② 女子1500m ③ 男子2000mリレー ④ 女子2000mリレー	女子決勝 フリースケーティング	決勝

5 競技規程

平成25年度公益財団法人日本スケート連盟（以下「日本スケート連盟」という）、公益財団法人日本アイスホッケー連盟（以下「日本アイスホッケー連盟」という）競技規則・規程並びに本大会要項によるほか、公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部（以下「スケート専門部」という）規程による。

6 競技方法

(1) スピード競技

ア 男子、女子ともに各距離ダブルトラックで競技を行う。その競技場は、1周400mの標準トラック（Cタイプ）とする。

イ 男子、女子ともに1500m以上の距離は、カルテットスタートの競技方法を採用する。

ウ グループ分けと組み合わせ

※文中の「タイムランキング」とは前年度及び当年度に開催された、国際競技会を含む日本スケート連盟公式競技会における当該距離の自己最高タイムランキング（平成25年12月27日付日本スケート連盟発表のもの）を指す。

①第1グループは、前年度本大会の当該距離8位以内の選手と、タイムランキング上位選手を加えた合計8名とし、それ以外の選手を第2グループとする。但し、第1グループの構成は、前年度の本大会の成績を優先させる。

②第1グループの組み合わせ及びリレー競技の組み合わせは抽選による。第2グループの選手はタイムランキングにしたがい組み合わせられる。この時、同タイムランキングの選手及びタイムのない選手は抽選により組み合わせられる。また、同じ組に同一校の選手が入らないように調整する。但し、同カルテット内では調整しない。これらは、スケート専門部及び実行委員会事務局により事前に抽選される。

③スタート順は、タイムのない選手、次にタイムランキング下位の組から滑走し、最後に第1グループが滑走する。但し、スケート専門部及び実行委員会事務局が、気象条件を勘案し、暖気等で中断等が予想される場合や、明らかに公式記録上位の選手が不利な条件になると判断した場合は、第1グループから滑走させることができる。

④組み合わせ後に棄権者が出た場合には、第1グループ内で独走となった組のみの再編成とし、タイムランキングでは行わない。また、選手変更は、その種目開始1時間前までに行うことができる。補欠選手は当該校の選手の位置と入れ替わり、補欠選手の自己最高タイムに基づく再編成はしない。

エ 500mはインナーレーンスタート及びアウターレーンスタートの2回の合計タイムで順位を決定する。2回目に滑走できる選手は、男子女子ともにインナーレーンスタート12位まで、アウターレーンスタート12位までの選手と、それ以外のタイム上位者を加えた合計30名とする。30番目の選手が複数いる場合は、その選手を追加する。但し、2回目の組み合わせ後に棄権者が出た場合でも、繰り上げることとはしない。

オ 各距離24位までと、リレー競技の12位までに各1点を与える。

カ 入賞はリレーを含む各距離8位までとし、得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点を与える。

キ 男女各総合（学校対抗）順位は、リレーを含む各距離の得点を学校別に合計し、その合計点により順位

を決定する。但し、同点の場合は、総合6位以内に限り上位入賞の多い学校を上位とする。その決定はより上位を有する数による。

ク 参加資格確認のため、当該校の申込記載責任者は様式6Sにバッジ認定証の写しを貼付しなければならない。

(2) フィギュア競技

ア 競技は予選、決勝方式により行う。

【予選】：男子クラス・女子クラスともにショートプログラムにより行う。

I S Uジュニアの課題を適用する。

【決勝】：男子クラス・女子クラスともにフリースケーティングにより行う。

I S Uジュニアの男子及び女子のバランスのとれたフリースケーティングを適用する。

イ 選抜方法

①男子クラス・女子クラス予選の得点のそれぞれ上位24位までの選手が決勝に進出する。

②参加人数が、男子クラス・女子クラスそれぞれにおいて41名以上の場合は、2つ以上の組に分けて予選を行う。

③予選の組分け方法

当該年度の全日本フィギュアスケート選手権大会出場選手、当該年度の全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会上位12位までの選手、前年度の本大会上位12位までの選手を、前記大会順、入賞順に2つ以上の組に振り分け、それ以外の選手は、バッジテスト級ごとにそれぞれ抽選で2つ以上の組に分ける。組分けの抽選は、技術代表、スケート専門部及び実行委員会事務局の責任において事前に行う。組分け後に棄権者が出た場合でも、組の再編成は行わない。

ウ 採点方法

I S Uジャッジングシステムで行う。

エ 滑走時間

①男子クラス 予選 ショートプログラム（2分50秒以内）

決勝 フリースケーティング（4分00秒）

②女子クラス 予選 ショートプログラム（2分50秒以内）

決勝 フリースケーティング（3分30秒）

オ 成績

①個人成績

決勝進出者については、予選の得点と決勝の得点の合計点により個人順位を決定する。同点の場合は、フリースケーティングの得点が高い選手を上位とする。決勝へ進出できなかった者については、決勝進出者の最後の順位に続けて、予選の得点により個人順位を決定する。

同点の場合は、技術点の高い者を上位とする。

②総合成績

個人順位の逆転法（最下位の順位点を1点とし順位が一つ上がるごとに1点ずつ加点していく）により個人に順位点を与え、順位点を学校別に集計し、総合順位を決定する。但し、同点の場合は上位者のいる学校を上位とする。

(3) アイスホッケー競技

ア トーナメント競技方法により、1位、2位、3位（2校）までを決定する。

イ 組み合わせ抽選は、スケート専門部、青森県アイスホッケー連盟、実行委員会事務局合同での事前抽選とする。

ウ 組み合わせ抽選の際、前回大会1位、2位、3位（2校）の学校をシードし、地区は考慮しない。

7 引率・監督

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。

(2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

但し、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

【補足事項】

(1) スピード競技の引率責任者は、当該校の教職員とする。ただし、やむを得ない事情により当該校の教職員が引率できない場合は、当該学校長から委嘱された他校の教職員が引率することができるが、その際には参加申し込みの委嘱状の写しを添付すること。監督・コーチは当該学校長が認める指導者とし、当該学校長から委嘱された外部指導者も認める。その際、引率責任者と十分な打ち合わせをすること。

(2) フィギュア競技の引率責任者は、当該校の教職員とする。監督は引率者が兼任するものとし、当該校の教職員とする。但し、やむを得ない事情により当該校の教職員が引率できない場合は、当該学校長から委嘱された他校の教職員が引率することができるが、その際には参加申し込みの委嘱状の写しを添付すること。コーチ（インストラクター）は当該学校長が認める指導者とし、当該学校長から委嘱された外部指導者も認める。その際、引率責任者と十分な打ち合わせをすること。

(3) アイスホッケー競技の引率責任者及び監督は、当該校の教職員とする。コーチ・トレーナーは、当該学校長より委嘱された者であること。

(4) 引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

8 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は各都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、各都道府県スケート連盟、アイスホッケー連盟を通じてそれぞれ日本スケート連盟または日本アイスホッケー連盟に登録された者であること。
- (3) 年齢は平成6（1994）年4月2日以降に生まれた者とする。
但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) 同一学校であっても、チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。但し、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ア 上記の（1）（2）に定める生徒以外で、大会参加資格を満たし、かつ都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定にしたがい大会参加を認める。
 - イ 上記の（3）ただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。2 以下の条件を具備すること。<ol style="list-style-type: none">(1) 大会参加を認める条件<ol style="list-style-type: none">ア 本連盟の活動の目的を理解し、それを尊重すること。イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。ウ 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。(2) 大会参加に際し守るべき条件<ol style="list-style-type: none">ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等にしたがうとともに、大会の円滑な運営に協力すること。イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。 |
|---|

9 参加制限

(1) スピード競技

- ア 出場は1校1距離2名以内とし、補欠は1名とする。また個人の出場制限は2距離以内（リレーを除く）とし、補欠も1距離と見なす。
- イ リレーは登録6名以内とし、出場者はそのうち4名とする。
- ウ 申し込み選手のほか、男女別に監督1名とする。コーチは1名以内とする。
- エ 日本スケート連盟スピードスケートバッジテスト及びショートトラックバッジテストC級以上の資格取得者であること。

(2) フィギュア競技

ア 共通の参加制限

- ①平成25年9月1日現在、日本スケート連盟フィギュアスケートバッジテスト男子5級以上女子6級以上の資格取得選手であること。
但し、女子6級取得選手については、下記「イ」の参加制限を課す。
- ②出場は、1校男女それぞれ、選手3名、補欠1名以内とする。補欠との選手変更は、予選滑走順抽選までに文書で届け出た場合のみ認める。
- ③申し込み選手のほか、監督（引率者が兼任）は、1校男子クラス、女子クラス について、それぞれ1名以内、インストラクターは参加選手1名に対し1名以内とする。
- ④都道府県代表特別枠
男子5級以上、女子6級以上の資格による出場者がいない都道府県については、特別枠として都道府県代表、男女それぞれ1名の選手の出場を、男子4級、女子5級取得選手に限り認める。

イ 女子6級取得選手の参加制限

①各都道府県推薦枠

6級取得選手出場総枠を、各県の6級登録選手数を基に、全国高体連スケート専門部フィギュア競技委員会が各県に比例配分し、各県の6級取得選手出場枠を決定する。

②特別推薦枠

a 開催県推薦枠

開催県の6級取得選手には、出場の枠を与える。

b フィギュア競技委員会推薦枠

フィギュア競技委員会が選考の上、6級取得選手に出場の枠を与える場合がある。

(3) アイスホッケー競技

ア 申し込み選手のほか、監督1名、コーチ1名、トレーナー1名以内とする。

イ 各ブロックで予選を行い、代表校を決定する。出場校は各ブロックからの代表26校と開催地推薦校を加えたチームとする（北海道ブロック8校、東北ブロック5校、関東ブロック8校、北信越・東海・近畿ブロック4校、中国・四国・九州ブロック1校）。

ウ 1学校1チームとし、1チーム競技出場者はゴールキーパー1名以上2名以内を含めて11名以上22名以内とする（但し、プレーヤーは10名以上20名以内とする）。

エ 選手はフェイスマスク（全面を覆うもの）、ネックガード、マウスピースを着用すること。

(4) 外国人留学生については、スピード競技・フィギュア競技は1校男女各1名、アイスホッケー競技は競技出場2名以内とする。

10 表彰

(1) スピード競技

ア 男女別に総合（学校対抗）6位までに賞状、優勝校には、（公財）全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、（公財）日本スケート連盟会長杯（以上持ち回り）、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 男女別に各距離の8位までに賞状、3位までに入賞メダルを授与する。

(2) フィギュア競技

ア 男女別に総合（学校対抗）6位までに賞状、優勝校には、（公財）全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、（公財）日本スケート連盟会長杯（以上持ち回り）、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 男女別に個人8位までに賞状、3位までに入賞メダルを授与する。

(3) アイスホッケー競技

ア 3位（2校）までに賞状、優勝校には、（公財）全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、（公財）日本アイスホッケー連盟会長杯（以上持ち回り）、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 優勝校の各選手に賞状と優勝メダルを授与する。

ウ 準優勝校の各選手に賞状と準優勝メダルを授与する。

エ 3位（2校）の各選手に賞状を授与する。

11 参加申込

※個人情報の取扱いについて

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用されることはない。（詳しくは大会ホームページの「個人情報取扱」を参照のこと）

(1) 申込期限

ア 原本の送付については平成26年1月3日（金）正午必着

イ 但し、データ送信については、次の通りとする。

①都道府県別申込、学校別申込、スピード競技・アイスホッケー競技申込

平成25年12月27日（金）正午必着

②フィギュア競技申込

平成25年12月13日（金）正午必着

※演技予定要素リストのweb申込も必ず行うこと

(2) 申込先

〒031-0073 青森県八戸市売市興遊下3 八戸市スポーツ研修センター内

平成25年度全国高等学校総合体育大会

第63回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会

青森県実行委員会事務局宛

TEL 0178-20-0401

FAX 0178-20-0405

e-mail: inhigh-skate-aomori@nifty.com

(3) 申込方法

ア 各都道府県申込責任者は、参加校の関係書類（様式4～様式13Hの必要な書類）を確認の上、大会ホームページ(<http://www.63inhigh-aomori.jp>)より書類（様式1～様式3・選手団連絡票）をダウンロードして下記の書類を作成し、所属高等学校体育連盟会長を経由して送付すること。

同時に入力済み書類（様式1～様式3・選手団連絡票）のエクセルファイルを電子メールにて添付送信すること。

- ①様式1 申込送付書及び送金確認書 【郵送】及び【データ送信】
 ②様式2 都道府県選手団申込一覧表 【郵送】及び【データ送信】
 ③様式3 役員・視察員宿泊申込書 【郵送】及び【データ送信】
 ④選手団連絡票 【郵送】及び【データ送信】
- イ 各参加校は大会ホームページ(<http://www.63inhigh-aomori.jp>)より各申込用ファイル(学校別申込用、各競技用)をダウンロードして、必要な書類を作成し、各都道府県申込責任者に提出すること。同時に各参加校は、各申込用ファイル(学校別申込用、参加する各競技用)およびプログラム掲載用写真を電子メールにて添付送信すること。
- ①学校別申込ファイル(entryform4.xlsx)
 様式4 学校別参加申込書 【郵送】及び【データ送信】
- ②スピード競技申込ファイル(entryform5-8.xlsx)
 様式5 S スピード競技出場申込書(男・女) 【郵送】及び【データ送信】
 様式6 S スピード競技バジテスト取得級貼付用紙 【郵送】
 様式7 S スピード競技最高記録更新届出書 【FAX】
 様式8 S スピード競技宿泊申込書 【郵送】及び【データ送信】
 ※プログラム掲載用写真(チーム写真) 【郵送】又は【データ送信】
- ③フィギュア競技申込ファイル(entryform9-11.xlsx)
 様式9 F フィギュア競技出場申込書(男・女) 【郵送】及び【データ送信】
 様式10 F フィギュア競技「演技予定要素リスト」※Web登録できない場合【郵送】及び【データ送信】
 様式11 F フィギュア競技宿泊申込書 【郵送】及び【データ送信】
 ※プログラム掲載用写真(個人写真) 【郵送】又は【データ送信】
- ④アイスホッケー競技申込ファイル(entryform12-13.xlsx)
 様式12 H アイスホッケー競技出場申込書 【郵送】及び【データ送信】
 様式13 H アイスホッケー競技宿泊申込書 【郵送】及び【データ送信】
 ※プログラム掲載用写真(チーム写真) 【郵送】又は【データ送信】
- ウ スピード競技「最高記録更新届出書」について
 12月20日以降、12月27日までに開催された公式競技会で、出場予定の種目の最高記録が更新された場合のみ「様式7 S」に必要な事項を記入し、平成25年12月27日(金)正午までに大会実行委員会事務局宛に必ずFAXで提出すること。
- エ フィギュア競技「演技予定要素リスト」について
 参加個人において平成25年12月13日(金)正午までに日本スケート連盟ホームページ「競技会オンライン申込サイト」により登録すること。なお、登録できない場合は、学校単位でまとめて上記「申込様式10 F」に記入して提出すること。
- オ 各参加校は、宿泊申込書(様式8 S、様式11 F、様式13 H)を「配宿センター」宛にもファクシミリで送信すること。
- カ 参加料、プログラム代金及び大会報告書代金の送金は銀行振込とし、銀行で発行された振込金受領書のコピーを必ず申込用紙の所定の欄に貼付すること。
- キ 送金の際には、実行委員会が指定した銀行口座に電信扱いで振り込むこと(振込手数料は、申込者の負担とする)。
 また、送金依頼人名は専門部を設置する都道府県については都道府県名がわかるように、それ以外については**県名及び学校名がわかるよう(個人名にしない)**にすること。なお、実行委員会事務局からは、各参加校に参加料・プログラム代金等の領収書は発行しない。
- ク 申込書類の送付は、発送記録が残る方法(書留等)で行うこと。
- ケ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備のあるものは受け付けない。
- (4) 参加料について
- ア スピード競技
 1名1距離ごとに3,500円(リレーはチームで3,500円)。但し、補欠選手の参加料は徴収しない。
- イ フィギュア競技
 1名3,500円。但し、補欠選手の参加料は徴収しない。
- ウ アイスホッケー競技
 1チーム35,000円
- エ 申込と同時に納入すること。申込後は、参加の取り消しがあっても返金はしない。
- (5) 振込先

振込先	指定銀行	みちのく銀行 田向支店
	預金口座	店番135 (普通) 口座番号2617503
	名義人	63回全国高校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会 青森県実行委員会 会長 高橋 順 (ロクジユウサンカイセノクコウコウスケートキョウギ・アイスホッケーキョウギ センシュケンタイカイ アモリケンツツコウインカイ カイチヨウ タカハシ ジュン)

(6) プログラム

参加校競技別に1部を無償配布する。その他は1部1,500円で販売する。代金は参加申込と同時に納入すること。

(7) 大会報告書

競技成績が掲載されている大会報告書を購入希望する学校は、参加申込と同時に申し込むこと。
1部2,000円(送料含む)の代金は、申込と同時に納入すること。

1.2 宿泊

- (1) 宿泊の申込については、必ず「配宿センター」を経由すること。
- (2) 詳細については、宿泊要項による。

1.3 輸送

輸送については、輸送要項による。

1.4 医療救護

医療救護については、医療救護要項による。

1.5 式典及び諸会議

名称	競技	日時	会場
抽選会議	スピード競技	1月4日(土) 13時00分	八戸市スポーツ研修センター視聴覚室
	アイスホッケー競技	1月6日(月) 13時00分	八戸市スポーツ研修センター視聴覚室
監督会議	スピード競技	1月20日(月) 10時00分	八戸市スポーツ研修センター第2会議室
監督主将会議	アイスホッケー競技	1月20日(月) 10時00分	八戸市公民館会議室1・2・3
引率責任者(監督)会議 滑走順抽選	フィギュア競技	1月20日(月) 9時30分	三沢市国際交流教育センターホール
開会式	スピード競技 フィギュア競技 アイスホッケー競技	1月20日(月) 14時00分	八戸市公会堂
閉会式 (各競技別)	スピード競技	1月24日(金) 競技終了後	八戸市体育館
	フィギュア競技	1月24日(金) 競技終了後	三沢アイスアリーナ
	アイスホッケー競技	1月24日(金) 競技終了後	テクノルアイスパーク新井田

1.6 留意事項

- (1) 開会式には、各都道府県高体連旗を使用する。
各都道府県高等学校体育連盟は、高体連旗(1旗)を申込みと同時に実行委員会事務局へ送付する(校名旗は使用しない)こと。使用後は、実行委員会事務局が各都道府県高体連へ送付する。
なお、ポールは実行委員会事務局で準備する。
- (2) 諸事情により不参加が決定した学校は、速やかにその旨をファクシミリまたは電子メールで実行委員会事務局に連絡すること。
- (3) 各競技の練習時間は、実行委員会事務局で割り当てる。
- (4) スピード競技出場者は、必ずバッジテスト認定証を持参しなければならない。
- (5) フィギュア競技の引率責任者(監督)は、選手のバッジテスト受験者手帳及びショートプログラム競技で使用する音楽の録音媒体を引率責任者(監督)会議に持参すること。
また、選手は、大会期間中バッジテスト受験者手帳を携帯していなければならない。
- (6) フィギュア競技で使用する音楽の録音媒体はMD・CDまたはカセットテープとし、カセットテープはA面の最初からスタートできるものとする。録音媒体には、学校名・選手名を明記すること(シール等を媒体に貼付しないこと)。また、万が一に備えて、予備のMD・CDまたはカセットテープ(提出したものと異なる録音媒体が望ましい)を必ず用意しておくこと。MDはノーマルモードで録音すること。
- (6) 貴重品の管理については、各自の責任において行うこと。

17 実行委員会事務局

(1) 平成25年11月30日(土)まで

〒031-0012 青森県八戸市十日市字塚ノ下3-1 青森県立八戸商業高等学校内

平成25年度全国高等学校総合体育大会

第63回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会

青森県実行委員会事務局

TEL 0178-20-0401 FAX 0178-20-0405 e-mail: inhigh-skate-aomori@nifty.com

(2) 平成25年12月1日(日)～平成26年1月31日(金)

〒031-0073 青森県八戸市売市奥遊下3 八戸市スポーツ研修センター内

平成25年度全国高等学校総合体育大会

第63回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会

青森県実行委員会事務局

TEL 0178-20-0401 FAX 0178-20-0405 e-mail: inhigh-skate-aomori@nifty.com

18 各会場の住所

区 分	競 技 名 会 場	住 所
開 会 式	八戸市公会堂	〒031-0075 八戸市内丸一丁目1-1
ス ピ ー ド 競 技	八戸市長根公園 パイピングスケートリンク	〒031-0073 八戸市売市奥遊下3
フ ィ ギ ュ ア 競 技	三沢アイスアリーナ	〒033-0151 三沢市南山三丁目116-5
アイスホッケー競技	テクノルアイスパーク新井田	〒031-0813 八戸市新井田字新井田西四丁目1-1
	田名部記念アリーナ	〒039-1161 八戸市大字河原木字蝦夷館4-3
	ふくちアイスアリーナ	〒039-0862 三戸郡南部町大字苦米地字上根岸73-1